

今日の説教のポイント <エフェソの信徒への手紙5章1～5節>

①5章1節：恵みと希望に満ちた言葉！

「あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい」(1) 聖書で初めて聞く私たち自身のこと(神に愛されている子供)」、そこから始まる新しい生き方(神に倣う者となりなさい)」、その二つが語られている言葉です。もしこれが本当なら、他にこれ以上の恵みと希望に満ちた言葉があるのでしょうか？ 問題は、どういう理由でパウロがこのように言っているのかです。前後の言葉に注目です。

②4章32節と5章2節：拠って立つ全ての根拠 キリスト集中！

すぐ前では「神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい」(4:32)と言い、すぐ後では「キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように」(5:2)と語っています。つまり、1節の言葉は、神様ご自身が私たちの罪を贖うためにイエス・キリストにおいて起こして下さった出来事にひたすら目を向け、それに基づいて語られた言葉なのです。神学では、このような思考を「キリスト集中」と言います。何事もキリストから考える — キリスト者となったなら、それからは誰もが取るべき大切な思考方法です。

③古い人(4:22)に戻るのではなく — 滅びの道から方向転換をする！

「みだら・汚れ・貪欲」について3節と5節で注意が促されています。それらに支配された者が「偶像礼拝者」と言われています(5)。「偶像」とは、私たちを真の神から遠ざけてしまうモノ全てを指すのです！ 自分の場合は何が偶像になりやすいか、各々考えて注意しましょう。

④新しい人(4:24)として生きていく — キリストの愛で生きる！

しかし、この箇所では心配して注意することより、むしろ、恵みに満ちた神様を知ったのですから、「神に倣う者になる」(1)「愛によって歩む」(2)「感謝を表す」(4)といった言葉に目を注いで、神様に喜んでいただけるよう、キリストの愛で生きていくことを考えましょう！